

No.	件名・内容	回答
1	<p>小売店舗の誘致について</p> <p>今は、自転車に乗れるけど、それができなくなったら「買い物難民」になるかもしれません。せめて歩いて行けるところに、日常の買い物ができるお店があったらと思います。</p> <p>(受付No.) 24_2115 (受付日) 平成24年7月3日</p>	<p>近年、身近なスーパーなどの撤退で、日常の買い物に困難を感じる「買い物難民」が社会問題化しており、高齢化の進行により、今後も増加していくものと考えられます。このような「買い物難民」問題の解決のため、空き店舗の活用や移動販売、宅配サービスなど、さまざまな取り組みが全国各地で始められています。</p> <p>市内では、さいたまコープが原市団地内の空き店舗に宅配拠点を設け、団地住民の買い物支援事業を行っております。また、西上尾第一団地、西上尾第二団地、周辺の商店等が加盟する「ひまわりシール」でも、宅配や御用聞きサービス等の取り組みが行われています。</p> <p>市といたしましても、今後こうした取り組みが増えるよう、市民の皆様のご意見を参考にしながら、民間事業者や商店街等へ働きかけを行ってまいりたいと考えております。</p> <p>(担当) 商工課 (直通) 777-4441</p>